

## 歌といふものなからましかば

校長 前田 佳弘

天平宝字3年正月一日（759年2月2日）、因幡国（今の鳥取県東部）の守（かみ）だった大伴家持は、国庁で国内の郡司たちをもてなした新年の宴の席で「新しき年の初めの初春の今日降る雪のいやしけ吉事（よごと）」と詠みました。

「新しい年のはじめの、新春の今日降る雪の積もり重なるように、ますます重なれ、よいことが。」といった意味で、『万葉集』全20巻の最後に掲げられている歌です。また、家持は延暦4年（785年）まで生きたものの、これが記録に残る最後の歌といわれています。

令和3年も雪で明け、1月12・13日は市内の小中学校が臨時休校になるほどの積雪となりました。被害にあった方もおられますから、とても「吉事」とはいえませんが、本校の子供たちについては、保護者・地域の皆様のご指導・見守りのおかげで、雪に関する事故等にあうことなく過ごすことができました。改めて感謝申し上げます。

さて、12月号でもふれた『小倉百人一首』を選んだ藤原定家の父、藤原俊成は、その著『古来風躰抄』で「春の花をたづね秋の紅葉を見ても、歌といふものなからましかば、色をも香をも知る人もなく、なにをかは本の心ともすべき」、つまり「花や紅葉を見ても、それを詠んだ歌を知らなければ美しいと感じることはできない」と述べています。

普通は花や紅葉の美しさに感動して歌に詠むと考えます。俊成は、心の奥深くに刷り込まれた歌によってそれらを美しいと受け取る感性がつけられる、歌がなければ感じられない、というのです。

歌を知らなくても花や紅葉を見ることはできます。でも、歌を一首知っているだけで、同じ景色を見たときの受け取り方に、知らないときとは違う奥行きや幅が生まれることは確かです。

一定の知識をもつことで豊かに感じることができるようになるという俊成の考え方は、降り積もる雪から「吉事」を見出すように、いわゆるコロナ禍にあっても人の心のあたたかさに改めて気付いたり、希望の種を見つけたりすることにつながると思います。

こうした古典に限りません。子供たちには、教科の学習はもとより、卒業・進級に向けた行事や児童会活動等での様々な学びを通して、ものごとに対する見方・考え方の質を高めてほしいと願っています。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 練習の成果を発揮した書初大会

1月7日（木）、校内書初大会を行いました。今年は、新型コロナウイルス感染症の対策として、学年ごとに教室や学年ホールで時間をかけて実施しました。2枚の用紙に揮毫する30分間、しんと静まる中、筆を運ぶ音だけが聞こえ、見る者にも緊張が伝わってきました。

子供たちは、冬休みにたくさん練習したようで、それぞれに成長が感じられる素晴らしい作品になりました。

1年「さくら」 2年「はつ日」 3年「はるの空」  
4年「立山の春」 5年「水清き里」 6年「希望の道」

### 【受賞おめでとう】

☆ 校内書初大会 金賞（県大会出場）

1年 村田 明日加 2年 中谷 依玖 3年 井口 穂乃亜

4年 村田 多砂奈 5年 土居 美好 6年 岩崎 心雛 石崎 遥希

☆ 富山県児童生徒思考大会 優秀賞 6年 片岸 眞悠 5年 山下 美咲

☆ 第32回川の絵画コンクール 佳作

2年 中山 翔太郎 3年 高野 隼 田島 颯大 山畑 星乃 大谷 琥鉄

4年 高野 景 5年 木下 聖唯奈 滝下 玲愛



## 1年生の校外学習

1月20日(水)に生活科の「ふゆをたのしもう」の学習として、砺波青少年自然の家でスノーチューブ(浮き輪状のそり)のそり遊びを体験しました。前日までの雪模様とは打って変わり、青空の広がる気持ちのよい



1日となりました。指導員の方に滑り方を教えていただき、子供たちは歓声をあげながら時折回転して、勢いよく雪の斜面を滑り降りていました。気温が氷点下となる中、子供たちは寒さをものともせず汗をかきながら思う存分活動しました。



## ボランティア活動

ボランティア委員会では、学校のみんがが少しでもほのぼのとした優しい気持ちになることを願って日々活動しています。

常時活動には、月初めにボランティアデーとして、アルミ缶やペットボトルキャップ、牛乳パックを集めています。委員会の子供たちは朝一番に学校に入り、準備、回収、片付けを進んで行っています。



【毎月のボランティアデー】

また、10月26日から30日までボランティア委員会主催で「ほのぼのウィーク」を実施し、全校のほのぼののエピソードを寸劇にして集会で伝えました。劇づくりでは、「こうしてみたらどうか？」や「〇〇さん、いいね」と声をかけ合って、どうやったら楽しく伝えられるかと考えて、時間を見つけて練習に励み、全校にボランティアの気持ちを広げることができました。

3学期になり、今までリーダーとして引っ張ってきた6年生の背中を見て、5年生も続けと頑張る姿がみられ、とても頼もしいです。



【ボランティア委員会の寸劇】

## 【2月行事予定】



1	月		15	月	
2	火	4年1組校外学習(能作)	16	火	委員会(4年生見学) 1~3年下校 14:55 4~6年下校 15:45
3	水	4年2組校外学習(能作)	17	水	
4	木	3年校外学習(散居村ミュージアム) クラブ(3年生見学①) 1・2年下校 14:55 3~6年下校 15:45	18	木	
			19	金	
5	金	吉江中入学説明会	20	土	学年発表会(1・2・3・6年) 学習参観(4・5年) ネットトラブル防止講座 全校一斉下校 14:55
6	土				
7	日		21	日	
8	月	家庭学習定着週間(~14日) 全校一斉下校 15:20	22	月	振替休業日
9	火	入学説明会	23	火	天皇誕生日
10	水		24	水	学校評議員会 17:15 教育後援会理事会 19:00
11	木	建国記念の日	25	木	クラブ(3年生見学②) 1・2年下校 14:55 3~6年 15:45
12	金		26	金	バトンタッチ集会
13	土		27	土	
14	日		28	日	

### 【今年度の卒業式について】

今年度の卒業式は、在校生として5年生のみが参加します。1~4年生は、休業日となります。詳細につきましては、後日ご案内いたします。

